

平成27年7月15日

おおさわ学園 児童・生徒のみなさん  
保護者・地域のみなさま

おおさわ学園コミュニティ・スクール委員会

# 野川安全マップ

おおさわ学園のみんなが大好きな「野川」。いろんな花や、虫、魚だって住んでいる。でも、川は危険もいっぱい。危険を学び、ルールを守って、楽しく野川で遊べるといいね。

このマップは、平成23年5月21日に行われた、おおさわ学園コミュニティ・スクール委員会主催「野川安全マップ作り」に参加してくれたおおさわ学園の児童や先生、保護者、地域の方の現地調査の結果をまとめて作りました。

ぜひ、おうちの方と一緒に読んで、みなさんのおうちの「野川ルール」を作る参考にして下さい。

## 川遊びのやくそく

### ぜったいに、ひとりで行かない！

まずは、おうちの人と一緒に、野川の安全な場所、危険な場所を確かめに行こう。小学生は、川に入る時は、大人と一緒にいこう。河原におりる時は、必ず事前に帰宅時間や遊ぶ場所、一緒にいく友達など、おうちの人に伝え、了解をもらってから行こう。中学生も、川や河原で遊ぶときは、おうちの人に伝え、了解をもらってから。

### 天気・川の変化に気をつけよう！

天気の変化で、川の水は増水するよ。ふだん浅いところも、あっという間に水位がどんどん上がってくる。

○雨が降りそうだったり、カミナリが鳴ったらすぐに、川や河原から上がって、川からはなれよう。

川の水がにごりだしたり、今までなかった木や葉っぱなどが流れてきたら、鉄砲水の恐れがある。

○野川には武蔵野台地の道路排水や湧水が大量に注いでいます。上流や三鷹市内で雨が降ると、数日後に、その日は雨が降ってなくても野川の水位は上がります。

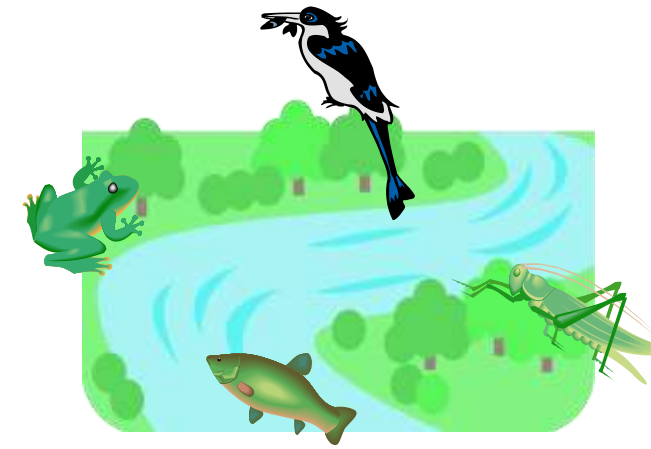
○大雨後数日は、下水が流れ込んでいる可能性があるため、衛生上、川遊びは控えましょう。

\*マップに記されている水深は、平成23年5/13日（晴れ）実踏で計測。夏場はプラス20~30cm水位上昇します！



【大雨のあとの野川（清水橋付近）】

ふだんの水位からは想像できないほど、増水する。



### はだして川に入らない！

川のなかには、とがった石やガラスなど危険なものが落ちている。リバーシューズやズック靴に靴下をはいたまま水に入ろう。サンダルはすべってきけんだよ。

### ヘビやハチや毛虫に注意！

野川にはヘビやハチ、毛虫など、毒を持っている生き物もいます。ヘビにかまれたり、ハチや毛虫にさわったら、すぐにおうちに人に言って、お医者さんに行こう。

### 生き物の死骸（しがい）にさわらない！

死んだ魚や猫、鳥などがある時も。死体にはいろいろなバイ菌がついているから、さわらないようにしましょう。

### まわりから見えているかな？

見通しの悪いところでは、遊ばない。何かあってもまわりの人が気づいてくれないよ。また、不審者にも気をつけましょう。

### 大人の方へお願い

子どもだけで野川で遊んでいるのを見かけたら、「大丈夫？気をつけてね！」と声をかけてあげてください。また、危険な遊びを見かけたら、すぐに注意して下さい。

**「自分の安全は、自分で守る」が基本。まずはおうちの人と安全を確かめ、各家庭の「野川ルール」を作ってください。**  
**この「やくそく」は、みなさんの意見をまとめ、学校と相談し、CS委員会が作った目安です。**  
**川遊びによる事故の責任を負うものではありません。**

**富士見大橋 あたり**  
 こんなところに土管が・・・中は深くて暗くてとっても危険！ 水の流れが静かだけど、意外と深い（水深65cm）柵のない排水口が多く水が流れ込むから、水位上昇に注意。トンネルに入る時には前後をよく見ながら、外からは見えにくいよ！

**富士見大橋～飛橋**

**出山下湧水あたり**  
 ひんやり冷たい湧水。楽しい遊び場だけど、あたりにひとけがなく、周りからも見えにくい場所。子どもだけだと危険だね。足元がすべる。ハチがいるよ。（水深35cm）きれいな水だけど、飲めないよ！

**泉橋 あたり**  
 湧水の流れ込むところがたくさんある。水位の変化に注意。川岸が崩れているところが多く、草で岸が見えにくい。河原からの転落にも気をつけよう。川がカーブしているところは雨が降ると流れが激しくなり、大きなブロック石だてて押し流す。

**御狩野橋 あたり**  
 鯉がいっぱい泳いでいる。ということは、水深が深いんだよ！（水深1m）川底から川岸までの段差が2m以上の崖になっていて、大人だって川岸へ登れないから、ここで遊ぶのはとても危ないよ。

**飛橋 あたり**  
 橋の裏には何がある？これはガス管と水道管、イタズラするとすごく危険！遊びやすそうだけど、右岸はかなりの断崖絶壁が続いているよ。岸の上れるところを確認しよう。雨が降ってきたり、川の様子が変わってきたら、すぐに川岸から上ろう。約100m間隔で設置してある黄色い「緊急避難はしご」を使おう。でも普段はここから上り下りしないこと。飛石やブロック石などのすぐ下流は、水流の関係で深くになっているよ。（水深50cm）

**野川公園**

**富士見大橋**

**泉橋**

**御狩野橋**

**相曾浦橋**

**湿生花園（ほ）**

**40出**

**大沢**

**市立第七中学校**

**相曾浦橋 あたり**  
 ここには大きな下水口や落差工があるよ。三鷹市街で雨が降り道路にあふれた水がここから一気に大量に流れ込む。ゴミが詰まっているあたりまで水位が上がること。また、下水口から流れ込む水の勢いで、川底が深くえぐられているよ。急に深いところあるから注意！大量の毛虫も発見。



**飛橋～清水橋**

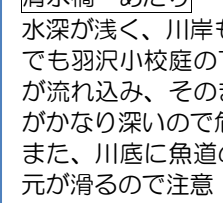
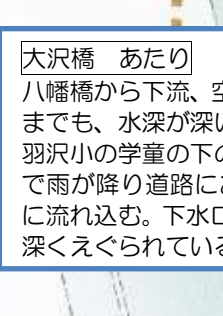
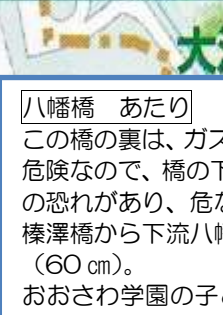
**調整池 あたり**  
 野川グラウンドは、野川が増水した時に放水するための調整池の役割もある。普段はおだやかな野川も、洪水時には水位が3mあたりまで上昇することもある。調整池の壁は「るんるんの小林さん」の背の高さぐらいあるけど、それを越えるほど増水することもあるよ。川の増水が終っても、そのあと調整池から野川に溜まった水を放流するから、放水路に注意。

**野水橋～榛澤橋 あたり**  
 水深も深くなく、流れもおだやか。遊びやすそう。でも、草が生い茂っていて、足元に注意が必要。「中州」の草が倒れているのは、水位が上がって水面下になる証拠。中州では遊ばない。右岸が2mぐらいの崖になっていて、両岸とも河原に上れるところが少ないので、まわりをよく見てから川に入ろう。また、木や草が生い茂り、見通しの悪いところも多いよ。

**八幡橋 あたり**  
 この橋の裏は、ガス管、水道管、電話線管がむき出し、危険なので、橋の下では遊ばない！下水管も、鉄砲水の恐れがあり、危ないよ。榛澤橋から下流八幡橋の間は水深もけっこう深い。（60cm）。おおさわ学園の子どもたちが授業で野川に入る八幡橋から大沢橋の間は、比較的安全。でも油断大敵！

**大沢橋 あたり**  
 八幡橋から下流、空堀（迂回水路）から大沢橋あたりまでも、水深が深い。（60cm）羽沢小の学童の下の大きな下水口も、注意！三鷹市街で雨が降り道路にあふれた水がここから一気に大量に流れ込む。下水口から流れ込む水の勢いで、川底が深くえぐられているよ。急に深いところある。

**清水橋 あたり**  
 水深が浅く、川岸も低いので遊びやすい。でも羽沢小校庭の下の下水口からは、勢いよく水が流れ込み、そのまわりは川底が掘れていて水深がかなり深いので危険。（水深80cm）また、川底に魚道のような丸太が埋めてあり、足元が滑るので注意！



**大沢**

**第一赤道儀**

**墳**

**真儀室**

**原遺跡**

**古八幡社 古八幡遺跡**

**市立羽沢小学校**

**大沢コミュニティセンター**

**下原遺跡**